

11月5日(土)12:15~13:00 中山拓海カルテット

中山拓海(サックス) / 鈴木直人(ギター) / 山本裕之(ベース) / 柿沼佑佑(ドラムス)

2019年キングインターナショナルよりメジャー・デビューを果たし、2021年ゲイであることをカミングアウトした新進気鋭のサックス奏者・中山拓海率いるカルテット。

11月6日(日)12:15~13:00 SAX CATS

藤瀬友希(ソプラノサックス) / 藤野冴香(アルトサックス) / 新村未都(テナーサックス) / 高木沙耶(テナーサックス) / 本藤美咲(バリトンサックス)

2015年テナーサックス奏者・村井千絵を筆頭に、女性サックス奏者5名により結成。「キャッツ」とは、ジャズを愛するミュージシャンへの愛称として使われたスラング。

中山拓海(サックス)



©Tomoko Hidai

1992年静岡県富士市に生まれる。国立音楽大学を首席で卒業。大学時代、早稲田大学ハイノサエティオーケストラに在籍しヤマノビックバンド・ジャズ・コンテスト最優秀賞を2年連続受賞、並びに最優秀ソリスト賞受賞。ロサンゼルスで開催されたクラマー主催の「グラミーキャンプ」に日本代表として全額スカラシップを受け参加。多国籍ジャズ・オーケストラAsian Youth Jazz Orchestraにてコンサートマスターを務め、アジア六ヵ国でツアを行った。アゼルバイジャン共和国で開催されたバケージュフェスティバルに自身のバンドで出演するなど国内外にも活動の幅を広げる。2017年ジャズ雑誌「JAZZ JAPAN」の「2010年代に頭角を現した新鋭アーティスト60」に選出される。2019年4月、渡辺貞夫クリエイティブ2days新宿ピッカイ公演に渡辺貞夫・本人に「ヨリケス」として呼ばれ参加。同年12月CD「たみくの悪巧み」でキングインターナショナルよりメジャーデビュー。ジャズ国内アーティストとしてキングインターナショナルからのリリースは史上初となる。2021年ゲイであることカミングアウト。

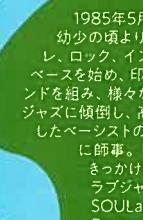
株式会社JAZZ SUMMIT TOKYO代表取締役

鈴木直人(ギター)



1976年生まれ。4歳からクラシックピアノ、6歳からヴァイオリン、12歳からドラマ、13歳よりギターを始める。2004年、Gibson Jazz Guitar Contest優勝。2010年 Jazz Session on You Tube 2009-10にて最優秀キタリスト賞受賞。2014年 Diners Club Social Jazz Session 2013-14にて優秀者に選ばれブルーノート東京でリトナー氏と共に演。リーリトナー氏の選考により最優秀者賞受賞。同年Lee Ritenour's Six String Theory World Competition のJazz/Fusion Guitarist部門にて世界第4位獲得。関東のジャズクラブハウスでの演奏を中心に様々なアーティストのセッションやサポート、レコーディングに参加。海外のジャズフェスティバルに多数出演。これまでにフランス、イタリア、イスラ、マレーシア、中国、カナダ、インド、香港、台湾、韓国で演奏。

山本裕之(ベース)



1985年5月31日、ピアノ調律師の次男として山口県で産まれ育つ。幼少の頃よりピアノを習う。高校在学中に地元山口県防府市bar印度洋でノイズ、プログレ、ロック、インプロ、民族音楽、ジャズなどの音楽に触れ感銘を受ける。その頃にエレキベースを始め、印度洋で知り合った三人のドラマー山本達久氏、一樂豊幸氏、弘中聰氏とバンドを組み、様々なイベントやライブを行う。その後親の影響で少しもソウルミニージックやジャズに傾倒し、高校卒業後ピアノ調律師を継ぐかベースの道を迷う自分が体にフィットしたベースの道へ進むことを決める。18歳から東京に拠点を移しコントラバスを斎藤誠氏に師事。ドラマーの力武誠氏、ピアニストの荒武裕一朗氏のバンドに抜擢された事をきっかけに様々なジャズバンド、セッションを経験する。2012年に小林岳五郎と共にクラブジャズユニットROOM56を結成。アルバム「Hit the Devil」リリース。イギリスのSOULandJAZZ.com・ベルベイタリーラIRMレベルに楽曲提供した他、Gregory Porterのremix盤アナログレコードにHit the Devilが収録される。その後、サポートベースとして、「平方元基」「結城安浩(ESCOLTA)」「朝丘雷鳴」「クミコ」「竹島宏」「石垣優」「荒山リクfromのあのわ」「井手麻理子」「Hiro-a-key」「佐々木秀実」などのアーティストのレコーディングやライブサポートに参加。2017年よりジャズピアニスト山中千尋の国内ツアー、ライブに参加している。東京交響楽団(指揮:原田慶太)と共演の他、NHK総合「あさイチ」、BSジャパン「音楽交差点」、テレビ朝日「謎のない音楽会」に山中千尋Trioの演奏で出演する。

柿沼佑佑(ドラムス)



1992年福島県出身。2011年に尚美学園大学入学後、木村由紀夫氏に師事。Philly Joe Jonesなどのジャズドラマーに影響を受け、ビバップ、ハードバップスタイルのドラムに特に傾倒する。在学時より、ピアニストの竹内重里紗氏のグループ、「BeBop Revisited!」に参加し、アルトサックスの名手、澤田一範氏をはじめ、様々なミュージシャンとの共演を重ねる。卒業後は、同世代からベテランまで、多数のミュージシャンと共演。現在も様々なバンドで都内を中心に活動している。

〈ご来場のお願い〉 感染防止対策にご協力ををお願いいたします。

- 以下に該当される方につきましては、ご入場いただけません。
 - ・来場当日自宅で検温し、発熱(37.5℃以上)があった方、公演当日に体調が優れない方。
 - ・新型コロナウィルス感染症の陽性判定を受けている方、自宅待機指示を受けている方。
 - ・新型コロナウィルス感染症の陽性と判明した方との濃厚接触がある方。
 - ・同居家族や身近な知人の感染が疑われる方。
 - ・政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航及び該当国・地域の在住者のとの濃厚接触がある方。
- 不織布マスクの着用をお願いいたします。
- 会場設置の手指消毒液をご利用ください。
- お客様同士十分な間隔の確保をお願いいたします。
- 大声による発声・会話はお控えください。
- 代々木公園内の飲食、喫煙は指定された場所でお願いします。
- 安全なイベント開催のため会場係員の指示に従っていただくようご協力ををお願いいたします。

藤野冴香(アルトサックス)



愛媛県今治市出身。中学の吹奏楽部よりサックスを始める。洗足学園音楽大学卒業。在学中はクラシックサックスを学び、現在は都内を中心に行なう自分の体にフィットしたベーストの道へ進むことを決める。18歳から東京に拠点を移しコントラバスを斎藤誠氏に師事。ドラマーの力武誠氏、ピアニストの荒武裕一朗氏のバンドに抜擢された事をきっかけに様々なジャズバンド、セッションを経験する。2012年に小林岳五郎と共にクラブジャズユニットROOM56を結成。アルバム「Hit the Devil」リリース。イギリスのSOULandJAZZ.com・ベルベイタリーラIRMレベルに楽曲提供した他、Gregory Porterのremix盤アナログレコードにHit the Devilが収録される。その後、サポートベースとして、「平方元基」「結城安浩(ESCOLTA)」「朝丘雷鳴」「クミコ」「竹島宏」「石垣優」「荒山リクfromのあのわ」「井手麻理子」「Hiro-a-key」「佐々木秀実」などのアーティストのレコーディングやライブサポートに参加。2017年よりジャズピアニスト山中千尋の国内ツアー、ライブに参加している。東京交響楽団(指揮:原田慶太)と共演の他、NHK総合「あさイチ」、BSジャパン「音楽交差点」、テレビ朝日「謎のない音楽会」に山中千尋Trioの演奏で出演する。

藤瀬友希(ソプラノサックス)



1988年12月生まれ。神奈川県藤沢市出身、在住。中学のクラブ活動でサックスを始める。2009年洗足学園音楽大学ジャズ科に入学。在学中からプロ活動を行う。サックスをボブ・ザング氏、多田誠司氏、ジャズ理論をユキ・アリマサ氏、編曲を谷口英治氏に師事。卒業後は自身の夢であつた、ジャズを初めて聴く子供達にジャズを楽しいものだと思ってもらおうと、ピッキングバンド「アルバカジャズオーケストラ」を結成。全国各地の中小高校への藝術鑑賞会、地方公共団体の藝術鑑賞会へ出向き、様々な編成でジャズコンサート、ジャズ講義を精力的に行う。(2018年にバンドは解散)。現在はニューオーリンズブラスバンドやジャズコンボ、ピッキングバンドなど、多岐に渡り活動する。またジャズサックス5重奏『SAXCATS』のソプラノサックス担当であり、同バンドでサックス専門誌『Sax World』にアレンジ提供を行っている。



新村未都(テナーサックス)



石川県出身。5歳からエレクトーンとピアノを始める。中学校より吹奏楽部でチューバとユーフォニアムを始め、高校からテナーサックスを始める。洗足学園音楽大学のジャズコースへ入学後は、学校選抜のピックバンド「Get Jazz Orchestra」などに所属。その他、「小曾根真presents JFC BigBand」で、東京JAZZに出演。同じく小曾根真presents JFC BigBandにて、「the 5th JAZZ JAPAN Award Ceremony」に出演。YUZU ONLINE LIVE 2021YUZUTOWN/ALWAYS YUZUTOWNに出演。クラシックサックスを田中真砂美氏、ジャズサックスを佐藤透哉氏、川嶋哲郎氏に師事。参加レコーディング:ボセイドン・石川 City-Pop-City(REMIX Ver.)、川嶋哲郎 Water Song。主な共演ミュージシャン恭敬称略:エリック宮城、おばんこほん(おほん)、川島哲郎、日野皓正、ナボレオンズ(ボナ木植)、ボセイドン・石川、ユッコミラー、ゆす。現在、都内ライブハウスやレコーディング、サポートなどで活動中。

高木沙耶(テナーサックス)



10歳からサックスを始める。その後、洗足学園音楽大学に入学し、2年までクラシックを、3年で転科し、ジャズを学ぶ。現在は都内を中心にライブ、サポート、レッスン、スタジオワークなど勢力的に活動をしている。



本藤美咲(バリトンサックス)



1992年生まれ。音楽家。即興演奏と作編曲の二種を基盤とし、様々な分野のアーティストと共に制作を行なう。galajapolymo主催、「Tokyo sound-painting」「SAX CATS」「hikaru yamada and metal casting jazz ensemble」「TOTOMO YOSHIIHIDE Small Stone Ensemble」「波さ知らズオーケストラ」などに参加。ライヴパフォーマンスの他、録音作品へのアレンジ提供・演奏・広告メディアへの音楽提供・ワークショップなどイベント企画・講師活動・専門誌「Sax World」でのコラム連載などを行なう。<https://www.misaxophone.me>



会場

代々木公園(ケヤキ並木)
@渋谷区くみんの広場
ふるさと渋谷フェスティバル内